

# SigmaSystemCenter 3.11

## ライセンスについて (システム構成ガイド)

2021年12月

# 構成上のポイント

■ SigmaSystemCenter を使用される場合には、  
「本体製品 (Edition ライセンス)」と「ターゲットライセンス」が必要 ご使用になる機能により、「オプションライセンス」が必要

本体製品には、管理するシステムの規模により 3 つのEditionが用意されています。

## ■ Basic Edition

- 小規模システム向けのイントロダクション製品です。管理可能なマシンの台数は、8台までに制限されていますが、Standard Editionのすべての機能を使用することができます。パブリッククラウド環境では160台まで管理できます。
- 仮想環境、パブリッククラウド環境の管理を行う場合は、別途仮想サーバ管理オプションが必要です。
- コンテナ環境を管理する場合は、別途コンテナ管理オプションが必要です。
- クラスタ構成には、対応していません。

## ■ Standard Edition

- 物理環境、仮想環境では、サーバOSは100台まで、クライアントOSは4000台までのマシンを管理可能な中規模システム向けのエディションです。パブリッククラウド環境の場合は2000台まで管理できます。
- 仮想環境、パブリッククラウド環境の管理を行う場合は、別途仮想サーバ管理オプションが必要です。
- コンテナ環境を管理する場合は、別途コンテナ管理オプションが必要です。

## ■ Enterprise Edition

- 管理台数に制限のない大規模システム向けのエディションです。Standard Editionの機能に加え、Cisco UCSを管理することができます。Enterprise Edition には、仮想サーバ管理オプション、コンテナ管理オプション、Network Appliance Control オプション (10)、PFC Control オプションが含まれます。Cisco UCSの管理の制御が可能です。

Basic Edition / Standard Editionは、上位のEditionにアップグレード可能です (有償) 。

■ SigmaSystemCenter本体製品、オプション、ターゲットライセンスをパック化し、お求めやすい価格で提供します。

## ■ SSC3.11小規模仮想化運用パック

- インストール用ISOと本体製品、仮想サーバ管理オプション、VMホストソケットライセンス(6ソケット分)が含まれます。
- 管理対象マシン(仮想化ホスト)は3台までです。パブリッククラウド上のマシンを管理する場合は60台まで管理できます。
- 管理対象の仮想化ホストは2ソケットサーバを前提としています。
- VMホストソケットライセンスを別途追加して、仮想化ホストを4台以上管理することはできません。また、ターゲットライセンスを別途追加して、物理マシンを管理することもできません。
- クラスタ構成には、対応していません。
- 仮想サーバ管理オプション以外のオプションライセンスを別途追加して使用することはできません。

# 管理可能な台数上限について

■ Edition ライセンス別に管理可能な台数の上限が異なります。

- Basic Edition

- ・ 物理環境、仮想環境 .. 8台
- ・ パブリッククラウド環境 .. 160台

- Standard Edition

- ・ 物理環境、仮想環境 .. サーバOS : 100台、クライアントOS:4000台
- ・ パブリッククラウド環境 .. 2000台

- Enterprise Edition .. 制限なし

■ 台数のカウント方法

- 物理環境

- ・ 稼動管理する物理マシンの台数(稼動OS数)でカウントします。
- ・ 予備マシンはカウントしません。

- 仮想環境

使用するライセンスの種類により異なります。

- ・ OSターゲットライセンス
  - 管理する仮想マシンの台数(稼動OS数)でカウントします。
- ・ VMホストソケットライセンス
  - 稼動管理するVMホストの台数でカウントします。

- パブリッククラウド環境

- ・ 各Editionで管理するパブリッククラウドマシンの台数20台につき、1台としてカウントします。
- ・ パブリッククラウド環境内で使用されるVMホスト1台につき20台までの仮想マシンが管理される前提でカウントを行います。

# ターゲットライセンス 1/3

SigmaSystemCenter のターゲットライセンスには、OSターゲットライセンスとVMホストソケットライセンスの2種類があります。

- OSターゲットライセンス

- マシン (OS) 単位のライセンスです。管理対象マシンの稼動OS数に対応しています。  
SigmaSystemCenterで稼動予定のOS数分のターゲットライセンスをご用意ください。

# ターゲットライセンス 2/3

- VMホストソケットライセンス

- 仮想環境管理用

- VMホスト (仮想マシンサーバ) 単位のライセンスです。VMホストのCPUソケット数に対応しています。SigmaSystemCenterで稼動予定のVMホストに搭載されるCPUソケット数分のライセンスをご用意ください。
    - 1つの物理CPUソケットあたりのコア数により、以下の4種類のライセンスがあります。CPUのコア数に応じて選択してください。
      - VMホストソケット (1-8core) ライセンス
      - VMホストソケット (9-16core) ライセンス
      - VMホストソケット (17-32core) ライセンス
      - VMホストソケット (無制限) ライセンス
    - VMホスト上で稼動する仮想マシンに対しては、OSターゲットライセンスを用意する必要はありません。

- パブリッククラウド環境管理用

- VM ホストソケットライセンスはパブリッククラウド (NEC Cloud IaaS) のマシンを管理することもできます。
    - パブリッククラウドマシンを管理する場合には、以下のライセンスを選択してください。
      - VMホストソケット (9-16Core) ライセンス
    - 1ライセンスあたり、10台までのパブリッククラウドマシンを管理することが可能です。SigmaSystemCenterで稼動予定のマシン台数に応じた数のライセンスをご用意ください。

# ターゲットライセンス 3/3

仮想環境の仮想マシンの管理に使用するターゲットライセンスの種別は、OSターゲットライセンス、またはVMホストソケットライセンスのいずれかを選択する必要があります。

仮想環境の仮想マシンのターゲットライセンスの種別は、仮想マシンサーバグループごとに選択できます。

## 【ターゲットライセンス種別の選択方法】

設定ファイルにOSターゲットライセンスで運用したい仮想マシンサーバのグループパスを記載し、PVMサービスの再起動を行ってください。

記載されていないグループはVMホストソケットライセンスが使用されます。

## ■ 設定例

ファイル名	OSLicenseGroup.xml		
格納場所	SystemProvisioning のインストールディレクトリ¥conf サンプルはopt¥license フォルダにあります。		
設定ファイル のタグ	Version	設定ファイルのバージョン（変更する必要はありません）	
	Group	グループタグの中に、Enable タグ、FullPath タグを指定してください。	
	Enable	0:無効, 1:有効（既定値では1（有効）となっています。変更する必要はありません）	
	FullPath	仮想マシンサーバのグループのフルパス 指定するグループ数分、FullPathタグを追記してください。	

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<OSLicenseGroup
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-
instance">
  <Version>1.0</Version>
  <Group>
    <Enable>1</Enable>
    <FullPath>Category/VMSGROUP1</FullPath>
    <FullPath>VMSGROUP2</FullPath>
  </Group>
</OSLicenseGroup>
```

※「OSLicenseGroup.xml」 ファイル保存時にエンコードをUTF-8に指定してください。

# オプションライセンス 1/2

オプションライセンスとして、以下を用意しています。

## 本体用オプションライセンス

管理サーバごとに1つのライセンスをご用意ください。

- **仮想サーバ管理オプション**

- 仮想環境、パブリッククラウド環境の管理機能を有効にします。
- Enterprise Editionに含まれています。

- **コンテナ管理オプション**

- コンテナプラットフォームが動作する環境の管理をする場合に必要です。
- Enterprise Editionに含まれています。

- **管理サーバクラスタライセンス**

- 管理サーバをクラスタ構成で運用する場合に必要なライセンスです。



## ターゲット用オプションライセンス

- Differential Clone オプション

- Differential Cloneにより仮想マシンを作成 / 管理する場合に必要なライセンスです。
- 管理対象ごとに1つのライセンスをご用意ください。
- SigmaSystemCenterで稼動予定のDifferential Clone仮想マシン台数分のオプションをご用意ください。

- Network Appliance Control オプション

- ネットワーク・アプライアンス製品(ソフトウェアロードバランサ、またはファイアウォールアプライアンス) を管理する場合に必要なライセンスです。
- ネットワーク・アプライアンス製品の台数分のオプションをご用意ください。
- Enterprise Editionには、10台分のNetwork Appliance Control オプションが含まれています。

- PFC Control オプション

- ProgrammableFlow Controllerを管理する場合に必要なライセンスです。
- オプションを追加することでProgrammableFlow Controllerは台数制限なく管理可能となります。
- Enterprise Editionには、PFC Control オプションが含まれています。

# セルフサービスポータル機能の追加オプション

■ SigmaSystemCenterにセルフサービスポータル機能を追加する場合は、別途SigmaSystemCenter利用者向けポータルオプション(vDC Automation Standard Edition)を購入する必要があります。

## ■ SigmaSystemCenter利用者向けポータルオプション

- 利用者向け仮想マシンポータル機能を提供します。

型番	プロダクト名	標準価格
UL1592-211-I	WebSAM vDC Automation v7 Media Download	30,000
UL1592-201-I	WebSAM vDC Automation v7 Standard Edition ライセンス	600,000

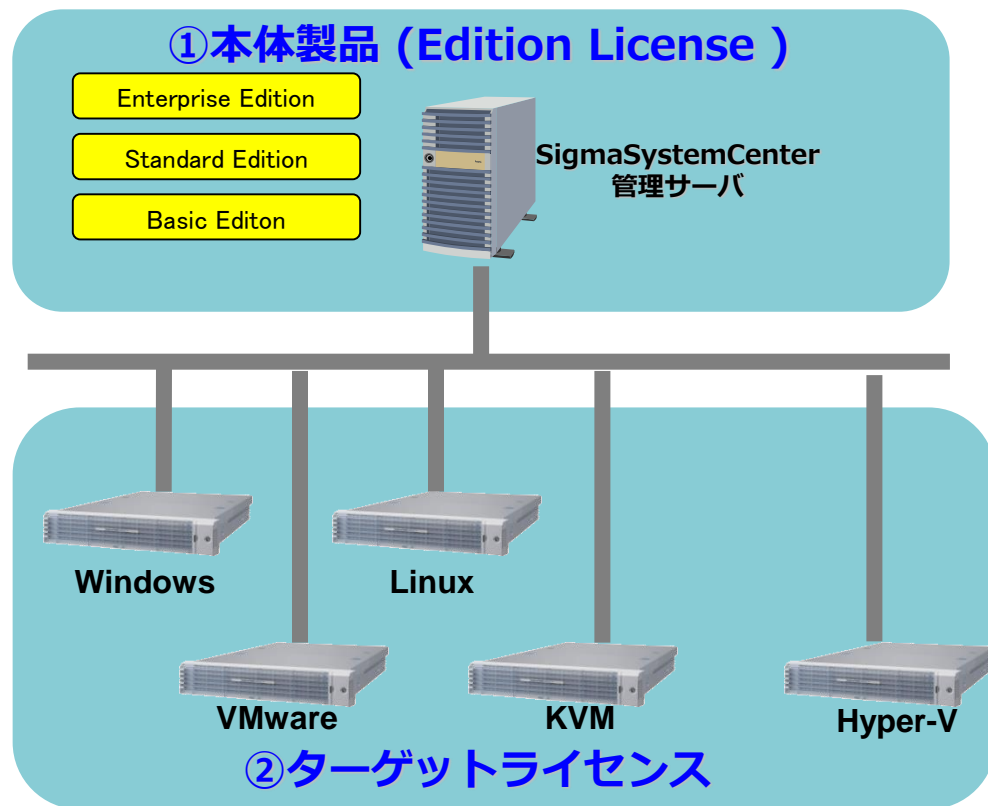
# 試用版ライセンス

SigmaSystemCenter を新規インストールすると試用版ライセンスが登録されます

- 試用版ライセンス

- 有効期限は60日です。
  - 有効期限後に試用版ライセンスが必要な場合は、製品窓口にお問い合わせください。
- Enterprise Edition 相当の機能を使用できます。
- ターゲットライセンスとターゲット用オプションライセンスを登録しなくても、機能を利用できます。

# システム構成から見るライセンス



## ③本体用オプションライセンス

仮想サーバ管理

コンテナ管理

管理サーバクラスタ

## 物理環境or 仮想環境(仮想マシン単位)

OS ターゲットライセンス

## 仮想環境 (仮想マシンサーバ単位)

VM ホストソケットライセンス



## ③ターゲット用オプションライセンス

Differential Clone オプション

Network Appliance Control オプション

# 構成情報データベースに使用するデータベース製品について

SigmaSystemCenterの構成情報データベースとして、以下の2つのデータベース製品のいずれかを選択して使用する必要があります。

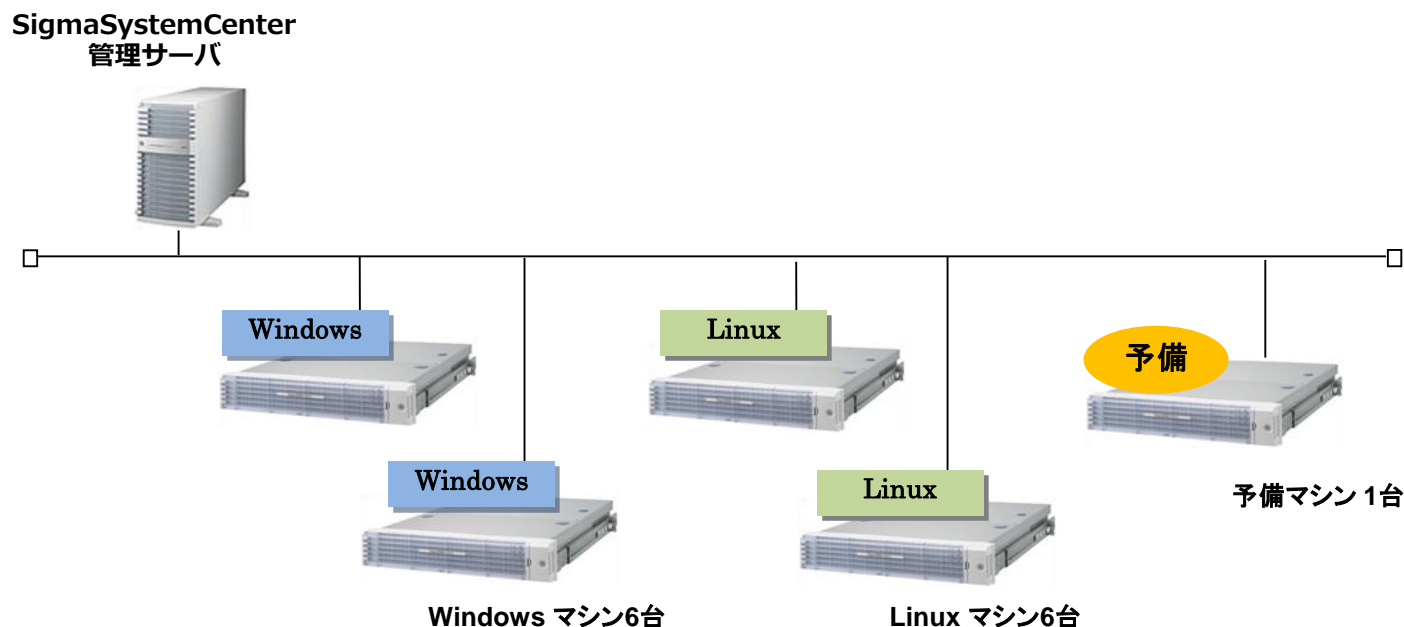
## ■ PostgreSQL

- SigmaSystemCenterの製品媒体に同梱されています。
- サポートは、SigmaSystemCenterの構成情報データベースとしての 利用用途に限定して、SigmaSystemCenterのPPサポートサービスの契約で行うことが可能です。
- SigmaSystemCenter以外の利用では別途PostgreSQLのサポート契約が必要です。
- 詳細は、[https://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/qabody\\_kousei.html?#anc-Q1-12](https://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/qabody_kousei.html?#anc-Q1-12)を参照してください。

## ■ Microsoft SQL Server

- SQL Server Express EditionがSigmaSystemCenterの製品媒体に同梱されています。
- SQL Server Express Editionのサポートについては、SigmaSystemCenterの構成情報データベースとしての利用用途に限定してSQL Server Express Editionに関する利用方法や発生した問題の事例の紹介などのサポートを行っています。
- フルサポートが必要な場合や管理サーバをクラスタ構成にする場合は、SQL Serverの製品版を購入し、SQL ServerのPPサポートサービスの契約を行う必要があります。
- 詳細は、[https://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/qabody\\_kousei.html?#anc-Q1-11](https://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/qabody_kousei.html?#anc-Q1-11)を参照してください。

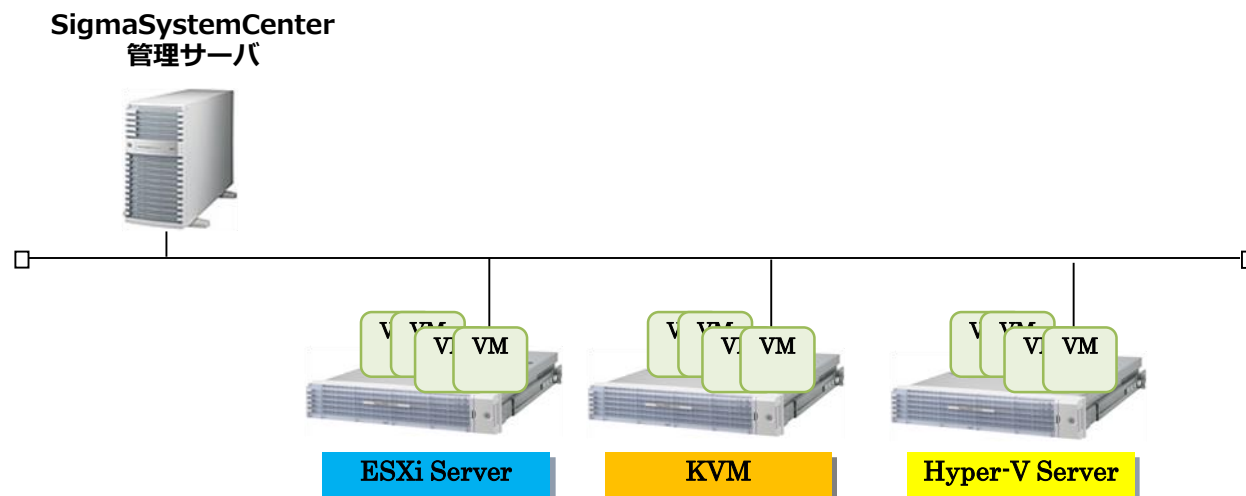
# システム構成例(1) 物理環境



型番	製品名	数量	希望小売価格(円)	合価(円)	月額標準サポート料金(円)	合価(円)
UL1251-P0C-I	SigmaSystemCenter 3.11 Standard Edition	1	1,000,000	1,000,000	12,500	12,500
UL1251-P0K-I	SigmaSystemCenter 3.11 ターゲットライセンス(1)	2	100,000	200,000	1,300	2,600
UL1251-P2K-I	SigmaSystemCenter 3.11 ターゲットライセンス(10)	1	900,000	900,000	11,300	11,300
		合計		2,100,000		26,400

▶ N+1リカバリの予備マシンには、ターゲットライセンスは不要です。

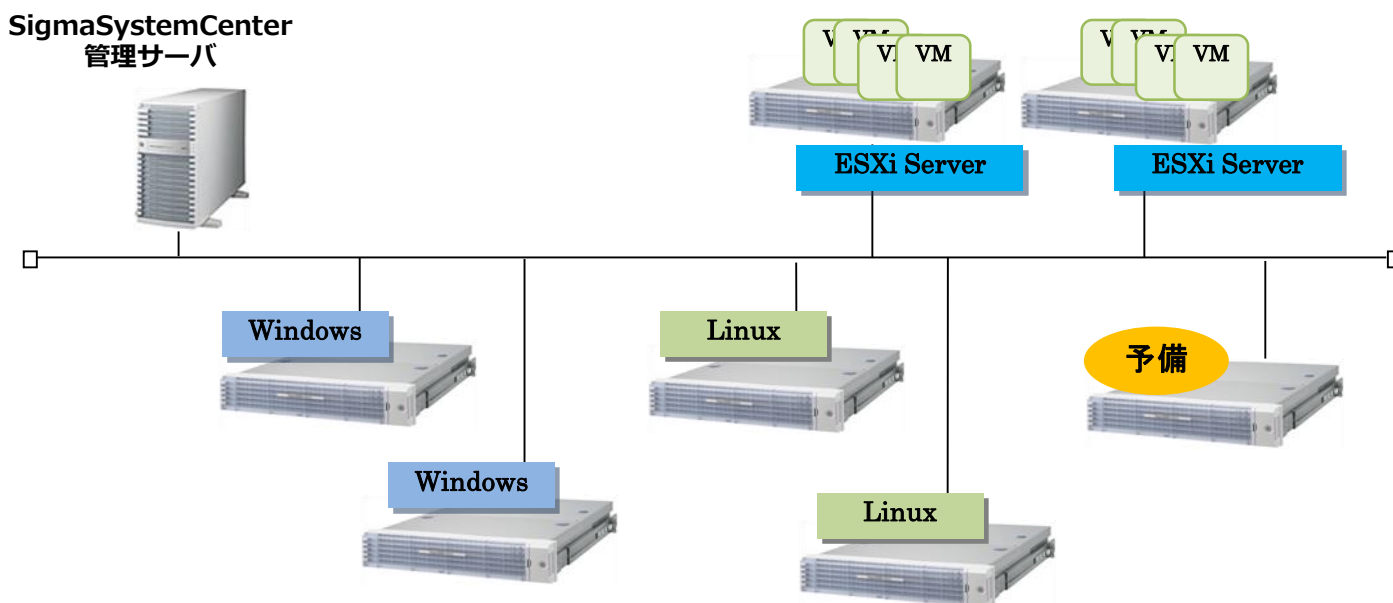
# システム構成例(2) 仮想環境



型番	製品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準 サポート料 金(円)	合価(円)
UL1251-P0S-I	SigmaSystemCenter 3.11 Basic Edition	1	400,000	400,000	5,000	5,000
UL1251-P1U-I	SigmaSystemCenter 3.11 VMホストソケット(1-8Core) ライセンス(2)	3	300,000	900,000	3,800	11,400
UL1251-P0N-I	SigmaSystemCenter 3.11 仮想サーバ管理オプション	1	200,000	200,000	2,500	2,500
		合計		1,500,000		18,900

- ▶ 管理対象とする物理マシンの台数が8台以下→Basic Edition を選択します。
- ▶ 仮想環境を管理する場合には、仮想サーバ管理オプションが必要です。
- ▶ CPUのコア数は8コア以下なので、「VMホストソケット(1-8Core) ライセンス」を選択します。
- ▶ VMホストソケットライセンスを使用する場合は、VMホスト上で稼動する仮想マシンに対しては、OSターゲットライセンスは不要です。

# システム構成例(3) 物理 / 仮想混在環境

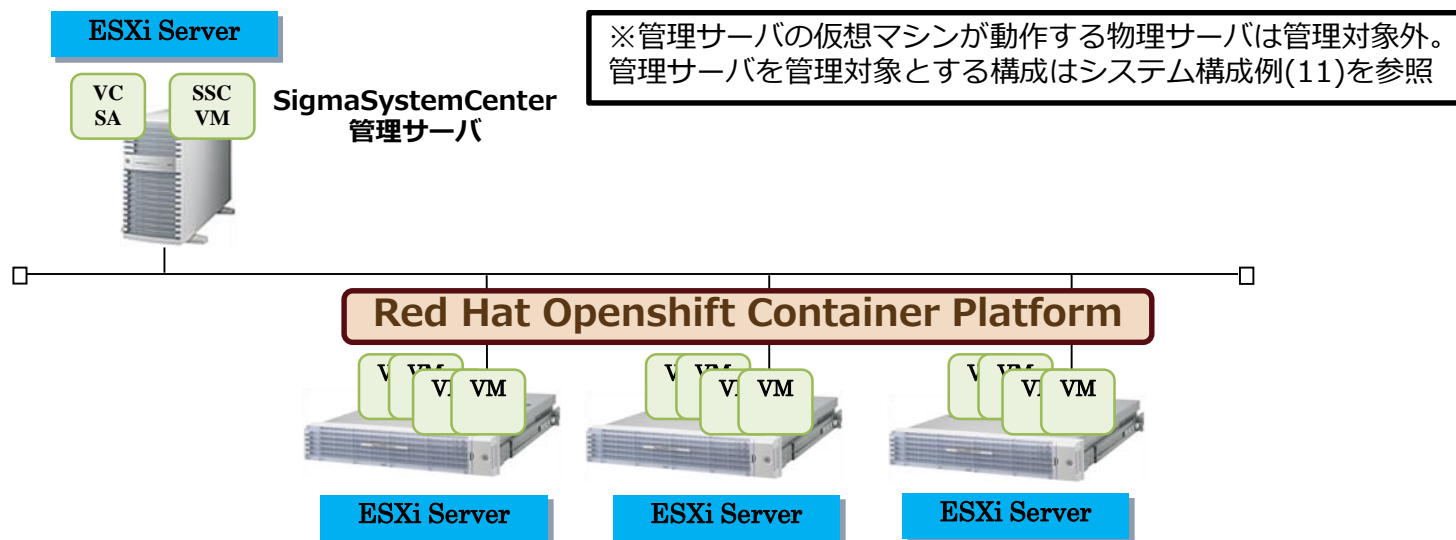


型番	製品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準 サポート料 金(円)	合価(円)
UL1251-P0S-I	SigmaSystemCenter 3.11 Basic Edition	1	400,000	400,000	5,000	5,000
UL1251-P0K-I	SigmaSystemCenter 3.11 ターゲットライセンス(1)	4	100,000	400,000	1,300	5,200
UL1251-P1U-I	SigmaSystemCenter 3.11 VMホストソケット (1-8Core) ラ イセンス (2)	2	300,000	600,000	3,800	7,600
UL1251-P0N-I	SigmaSystemCenter 3.11 仮想サーバ管理オプション	1	200,000	200,000	2,500	2,500
		合計		1,600,000		20,300

- ▶ 仮想マシンと物理マシンを統合管理する場合は、仮想マシンに対してはホストソケットライセンスを、物理マシンに対してはOSターゲットライセンスをご使用いただけます。



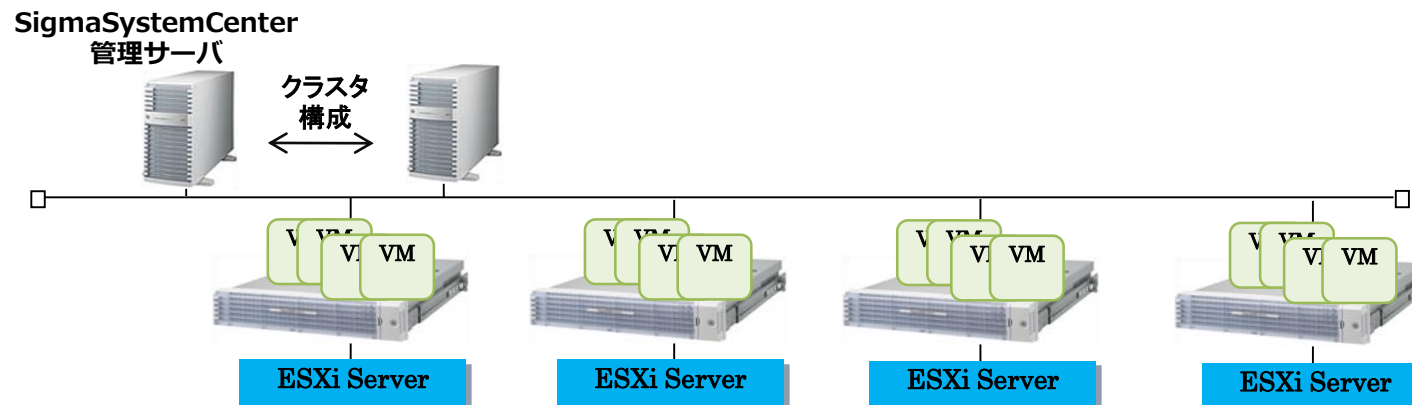
# システム構成例(4) コンテナ環境(VMware)



型番	製品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準 サポート料 金(円)	合価(円)
UL1251-P0S-I	SigmaSystemCenter 3.11 Basic Edition	1	400,000	400,000	5,000	5,000
UL1251-P1U-I	SigmaSystemCenter 3.11 VMホストソケット(1-8Core) ラ イセンス(2)	3	300,000	900,000	3,800	11,400
UL1251-P0AM-I	SigmaSystemCenter 3.11 コンテナ管理オプション	1	200,000	200,000	2,500	2,500
UL1251-P0N-I	SigmaSystemCenter 3.11 仮想サーバ管理オプション	1	200,000	200,000	2,500	2,500
		合計		1,700,000		21,400

▶ コンテナプラットフォームが動作する環境を管理する場合は、コンテナ管理オプションが必要です。

# システム構成例(5) クラスタ構成の場合

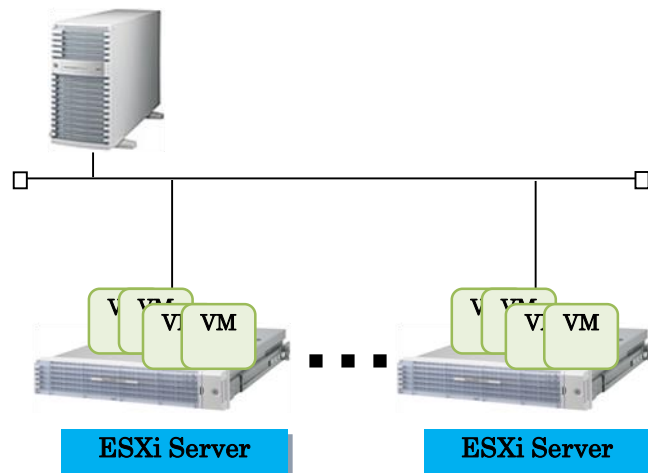


型番	製品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準 サポート料 金(円)	合価(円)
UL1251-P0C-I	SigmaSystemCenter 3.11 Standard Edition	1	1,000,000	1,000,000	12,500	12,500
UL1251-P1U-I	SigmaSystemCenter 3.11 VMホストソケット(1-8Core) ライセンス(2)	4	300,000	1,200,000	3,800	15,200
UL1251-P0N-I	SigmaSystemCenter 3.11 仮想サーバ管理オプション	1	200,000	200,000	2,500	2,500
UL1251-P0R-I	SigmaSystemCenter 3.11 Standard Edition 管理サーバクラスタライセンス	1	400,000	400,000	5,000	5,000
		合計		2,800,000		35,200

- ▶ クラスタ構成の場合には、クラスタライセンスが必要です
- ▶ 仮想サーバ管理オプションは1つ必要です。(クラスタ構成の場合も必要な数は1つ)
- ▶ クラスタ製品の別途購入が必要です。クラスタ製品は CLUSTERPRO Xが推奨です。
- ▶ データベース製品は、PostgreSQL、SQL Serverの利用が可能です。
  - ▶ SQL Serverを使用する場合、製品版(Standard Edition以上)の購入、PPサポートサービスの契約が必要です。

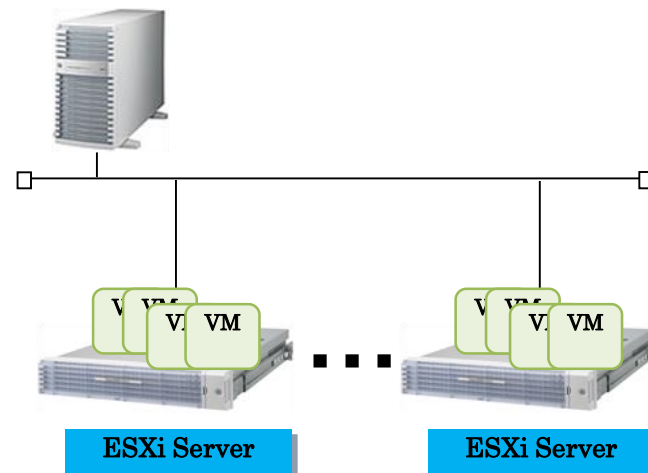
# システム構成例(6) 管理サーバが2台の場合

SigmaSystemCenter  
管理サーバ



ESX Server 20台

SigmaSystemCenter  
管理サーバ

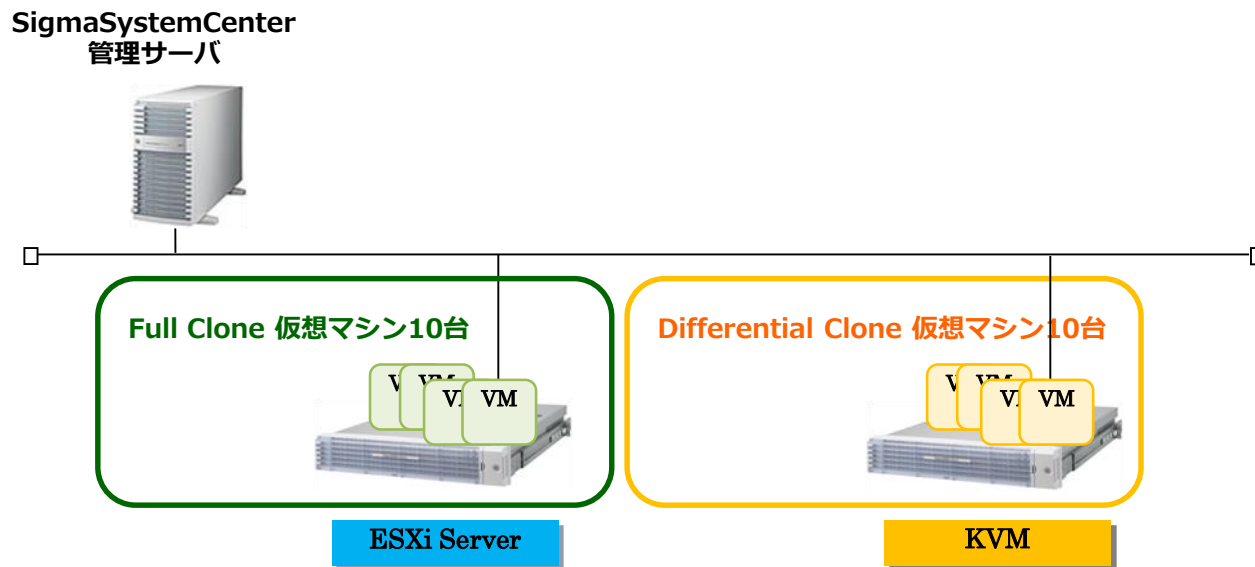


ESX Server 20台

型番	製品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準 サポート料 金(円)	合価(円)
UL1251-P0C-I	SigmaSystemCenter 3.11 Standard Edition	1	1,000,000	1,000,000	12,500	12,500
UL1251-P0D-I	SigmaSystemCenter 3.11 Standard Edition 管理サーバ追加ライセンス	1	800,000	800,000	10,000	10,000
UL1251-P1U-I	SigmaSystemCenter 3.11 VMホストソケット(1-8Core) ラ イセンス(2)	40	300,000	12,000,000	3,800	152,000
UL1251-P0N-I	SigmaSystemCenter 3.11 仮想サーバ管理オプション	2	200,000	400,000	2,500	5,000
		合計		14,200,000		179,500

- ▶ 管理サーバを追加する場合には管理サーバ追加ライセンスを使用します
- ▶ 仮想サーバ管理オプションは、管理サーバごとに必要です

# システム構成例(7) Differential Clone

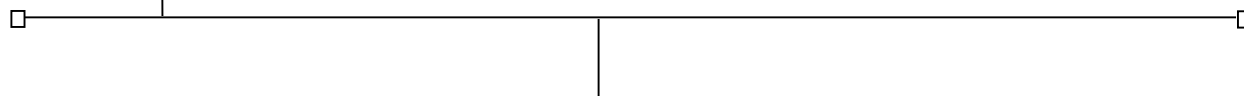


型番	製品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準 サポート料 金(円)	合価(円)
UL1251-P0S-I	SigmaSystemCenter 3.11 Basic Edition	1	400,000	400,000	5,000	5,000
UL1251-P1U-I	SigmaSystemCenter 3.11 VMホストソケット(1-8Core) ライセンス(2)	2	300,000	600,000	3,800	7,600
UL1251-P0N-I	SigmaSystemCenter 3.11 仮想サーバ管理オプション	1	200,000	200,000	2,500	2,500
UL1251-P1W-I	SigmaSystemCenter 3.11 Differential Clone オプション(10)	1	100,000	100,000	1,300	1,300
		合計		1,300,000		16,400

- ▶ ターゲットライセンスに加えて、Differential Clone 仮想マシン台数分の Differential Cloneオプションが必要です。

# システム構成例(8) パブリッククラウド環境

SigmaSystemCenter  
管理サーバ



■ ■ ■

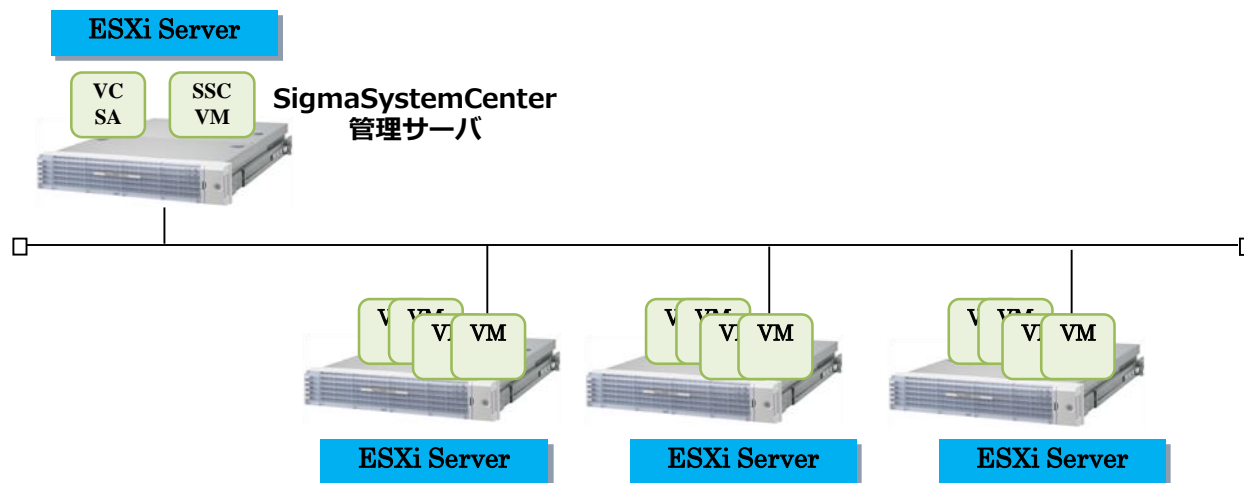


NEC Cloud IaaS サーバ40台

型番	製品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準 サポート料 金(円)	合価(円)
UL1251-P0S-I	SigmaSystemCenter 3.11 Basic Edition	1	400,000	400,000	5,000	5,000
UL1251-P0AA-I	SigmaSystemCenter 3.11 VMホストソケット(9-16Core) ライセンス(1)	4	225,000	900,000	2,900	11,600
UL1251-P0N-I	SigmaSystemCenter 3.11 仮想サーバ管理オプション	1	200,000	200,000	2,500	2,500
		合計		1,500,000		19,100

- ▶ 10台単位でVMホストソケット(9-16Core)ライセンスが1ライセンス必要です。また、仮想サーバ管理オプションが必要です。
- ▶ 本体製品(Basic Editionは8台まで、Standard Editionは100台まで)の選択では、パブリッククラウド上のマシンを20台単位でVMサーバ上で動作させる前提で、VMサーバの数をカウントします。

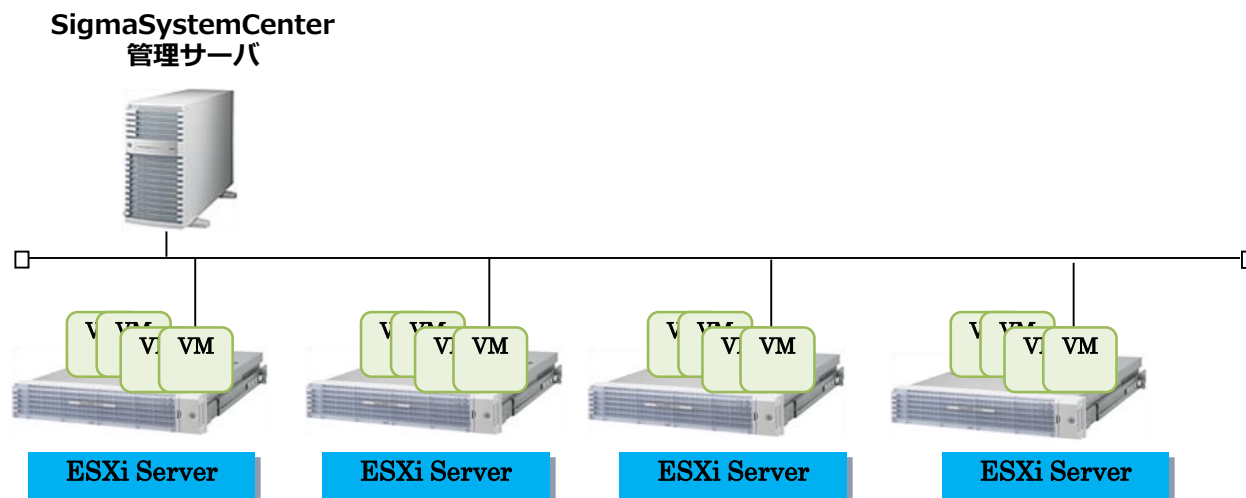
# システム構成例(9) 管理サーバが仮想マシンかつ管理対象の場合



型番	製品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準 サポート料 金(円)	合価(円)
UL1251-P0C-I	SigmaSystemCenter 3.11 Standard Edition	1	1,000,000	1,000,000	12,500	12,500
UL1251-P1U-I	SigmaSystemCenter 3.11 VMホストソケット(1-8Core) ライセンス(2)	4	300,000	1,200,000	3,800	15,200
UL1251-P0N-I	SigmaSystemCenter 3.11 仮想サーバ管理オプション	1	200,000	200,000	2,500	2,500
		合計		2,400,000		30,200

- ▶ 管理対象となる管理サーバ(仮想マシン)のターゲットライセンスが必要です。
  - ▶ VMホスト(仮想マシンサーバ)単位の場合はVMホストソケットライセンス
  - ▶ 仮想マシン単位の場合はOSターゲットライセンス

# システム構成例(10) セルフサービスポータル環境



型番	製品名	数量	希望小売 価格(円)	合価(円)	月額標準 サポート料 金(円)	合価(円)
UL1251-P0S-I	SigmaSystemCenter 3.11 Basic Edition	1	400,000	400,000	5,000	5,000
UL1251-P1AB-I	SigmaSystemCenter 3.11 VMホスト ソケット (17-32Core) ライセンス(2)	4	600,000	2,400,000	7,500	30,000
UL1251-P0N-I	SigmaSystemCenter 3.11 仮想サーバ管理オプション	1	200,000	200,000	2,500	2,500
UL1592-211-I	WebSAM vDC Automation v7 Media Download	1	30,000	30,000	800	800
UL1592-201-I	WebSAM vDC Automation v7 Standard Edition ライセンス	1	600,000	600,000	7,500	7,500
合計				3,630,000		45,800

- ▶ 仮想環境でセルフサービスポータルを実現するためには、SigmaSystemCenter管理サーバ上にSigmaSystemCenter利用者向けポータルオプション(vDC Automation Standard Edition)をインストールする必要があります。

## Q1. 予備マシンのターゲットライセンスは必要ですか？

A1. 予備マシンとして使用するマシンの利用方法によって異なります。

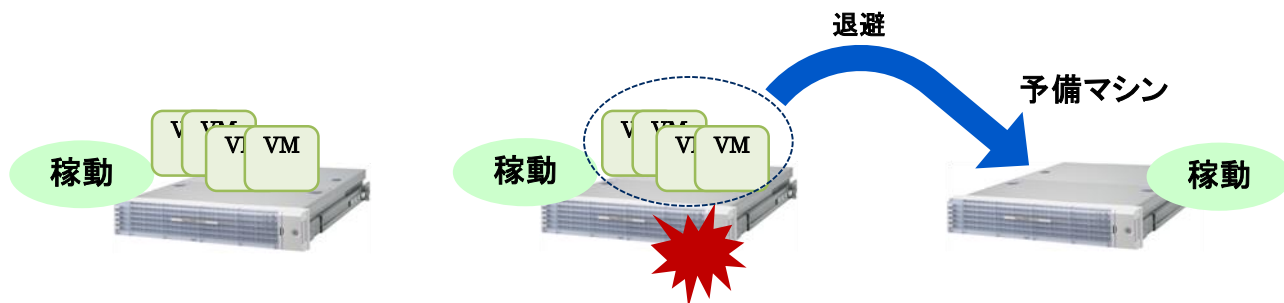
### ◆不要なケース

N+1リカバリ運用における障害時の切り替え先として利用する。



### ◆必要なケース

仮想マシンサーバを稼動させた状態で予備マシンとして使用する。他の仮想マシンサーバの高負荷時や障害時の仮想マシンの退避先として利用する。





## Q2. CPUソケットのカウント方法は？

A2. SigmaSystemCenter で管理対象とするVMホスト (仮想マシンサーバ) に実装される物理CPUソケット数をカウントします。  
CPUの実装されないソケットはカウントしません。

## Q3. Basic Edition で2ソケットのESX Server を8台管理することはできますか？

A3. できます。VMホストソケットライセンスをご使用ください。  
VMホスト (仮想マシンサーバ)を8台まで管理することができます。  
仮想マシンの台数には、ライセンス上の制限はありません。

## Q4. OSターゲットライセンスは、仮想マシンに使用できますか？

A4. できます。仮想環境でOSターゲットライセンスを使用する場合、同時に起動される仮想マシン台数分のOSターゲットライセンスをご用意ください。  
VMホストソケットライセンスと混在利用は可能ですが、OSターゲットライセンスを使用する仮想マシンが動作する仮想マシンサーバに対して、VMホストソケットライセンスを使用することはできません。(Page6「ターゲットライセンス 3/3」参照)

Q5. 管理サーバ追加ライセンスは、どのような場合に購入できますか？

A5. 同一システム（同じ目的のシステム）で、2台以上の管理サーバを構築される場合、2台目以降の管理サーバに対して、管理サーバ追加ライセンスがご購入いただけます。

ただし、インストール媒体は、本体製品 (Edition ライセンス) にしか添付されません。

Q6. クラスタ構成の場合は、仮想サーバ管理オプションは2つ必要ですか？

A6. いいえ。クラスタ構成の場合も、必要なオプションの数は1つです。

Q7. 管理サーバ自身を管理する場合、ターゲットライセンスは必要ですか？

A7. はい。管理サーバ自身を管理対象とする場合にも、通常の管理対象マシンと同様の考え方でターゲットライセンスをご用意ください。

版数	日付	改版内容
1.0	2021年10月22日	初版
2.0	2021年12月3日	SSC3.11小規模仮想化運用パックの説明を更新

 **Orchestrating** a brighter world

**NEC**